

9月オープン道後温泉別館 飛鳥乃湯泉で見られる 伝統工芸②

『伊予竹細工』



虎竹工房・西川
西川 静廣さん

道後温泉を訪れた聖徳太子が編み方を伝授したと伝説が残る伊予竹細工。型を使わず編んだ籠に、竹ひごを不規則に抜いて仕上げる「やちやら編み」が特徴。

■飛鳥乃湯泉に使用する
行燈照明制作の依頼を受
けて

県内に素晴らしい伝統
工芸が数多くある中で、
担い手の少なくなったこ
の竹産業が脚光を浴びる
ことは本当にうれし
いです。

■県の伝統工芸と最
先端のアートがコラ
ボレーションするこ
ういう試みについて
型編みをしないこ
の松山独自の「や
ちやら編み」での制
作を受け私たち職人
としては「見られて
も恥ずかしくないも
のを」という一心で
す。

■飛鳥乃湯泉のオー
プンに期待すること
松山の竹細工は芸



竹ひごを「宙編み」する「やちやら編み」

自由な感覚で見してほしい

■伊予竹細工の魅力
竹細工は遠目に見
れば同じ形でも、竹
の流れや節目の位置
の違いから、2つと
同じものはできませ
ん。特に「やちやら
編み」は型も何もな
いところから作り上
げるので、いわば私
の頭の中のイメージをそ
のまま表現でき、物づく
りの楽しさを感じながら
制作しています。

■市民の皆さんにメッ
セージ

「やちやら編み」はと
てもランダムな編み方な
ので、自由な感覚で見
て、その良さを受け取っ
てほしいと思います。

閩道後温泉事務所 ☎ 921 5 1 4 1 ・ FAX 934 3 4 1 5

「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」の休憩室で提供 お茶菓子を発表

9月26日オープンの「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」で湯上がりに入浴客に提供されるお茶菓子が決定し、6月28日に道後温泉本館で発表会が行われました。

発表会には野志市長と(株)一六本舗の玉置副社長、亀井製菓(株)の亀井社長が参加。平成28年11月から本市が公募し、道後温泉旅館協同組合などが参加した審査会を経て選ばれたもので、野志市長が2種類のお茶菓子を披露しました。



(左から)野志市長、(株)一六本舗副社長、玉置副社長、(株)亀井製菓社長、亀井社長

「道後つばき花餅」を提供する予定です。野志市長は「風呂上がり、畳の上でお茶とお菓子を楽しめるのは、松山の特徴。多くの人に楽しんでほしい」と話しました。

閩道後温泉事務所 ☎ 921 5 1 4 1 ・ FAX 934 3 4 1 5



提供される「道後夢菓子断」(左)と「道後つばき花餅」

市内各地域のまちづくり協議会の活動を紹介する事例発表や意見交換などを行う「地域力パワーアップ大会」が7月2日、松山市民会館で行われました。

3回目となる今大会は「地域で楽しく年を重ねよう」をテーマに、三津浜地区・八坂地区・石井地区のまちづくり協議会がそれぞれの活動を発表し、市コミュニティ・アドバイザーと意見交換を行いました。

三津浜地区では地域包括支援センターと連携し、紙コップを使ったゲームや講演会を行うなど、高齢者が出かける機会が増えました。意見交換の場では、大会に訪れた来場者から質問があがるなど、活発な意見交換が行われ、市コミュニティ・アドバイザーからは「高齢者の『ため』のまちづくりではなく、高齢者に『よる』まちづくりも大切。知識や



活発な意見交換が行われる様子

7月2日開催 地域力パワーアップ大会 「地域で楽しく年を重ねよう」

三浦白鷗さんから作品「泉」寄贈 道後温泉本館に展示

6月9日、本市出身の書家・三浦白鷗さんの作品「泉」が寄贈され、道後温泉本館2階展示室に飾られました。



寄贈された三浦さんの作品「泉」

道後温泉本館前で行われた贈呈式で三浦さんは「道後温泉本館を訪れた人に見ていただき、皆さんの思い出になればありがたい」とあいさつ。野志市長は「三浦さんの作品と9月にオープンする道後温泉別館 飛鳥乃湯泉で新しい魅力が加わるので、多くの人に道後に来てもらいたい」と話し、三浦さんに感謝状を贈りました。



屋根に設置された鷗尾

「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」のシンボルの1つである鷗尾が6月15・17日に屋根に設置されました。この鷗尾は、飛鳥時代の建築に見られる屋根飾りです。クレーンで慎重につり上げられ、鷗尾が屋根の上に設置されると、見物客からは歓声があがっていました。※道後温泉公式サイトHP <http://doto.go.jp>で新施設の詳細状況などを配信しています



完成したポンプ蔵置所の前で山本仁虹さん(左)と野志市長

閩道後温泉事務所 ☎ 921 5 1 4 1 ・ FAX 934 3 4 1 5

飛鳥乃湯泉のシンボル 菊間瓦で制作した鷗尾を設置

で、魚をモチーフにし、火除けの意味があります。縦約86センチ、横約77センチ、奥行き約35センチの大きさで、特徴的な金焼塗装を施し、愛媛の伝統工芸である菊間瓦で制作されています。

垣生分団東垣生消防ポンプ蔵置所が完成

地域と消防団のさらなる連携のため、移転・建て替えを進めていた垣生分団東垣生消防ポンプ蔵置所が完成し、6月18日に落成式が行われました。落成式で野志市長は、「地域の皆さんの安全・安心のため一層の協力をお願いしたい」と述べ、車庫シャッターのデザインを制作した垣生中学校美術部3年の山本仁虹さんに感謝状を贈りました。

閩地域防災課 ☎ 926 9 2 9 1 8 9 ・ FAX 926 9 2 9 1 8 9